

2025年日本国際博覧会協会 御中

2025 大阪・関西万博のごみ対策に関する緊急提案

2025 年 5 月 15 日
大阪ごみ減量推進会議
会長 花田 眞理子

2025 年大阪・関西万博が開幕して 1 か月が経過しました。その間、私たちは会場でのごみ対策について実際に見てきましたが、いくつかの改善点があるように思います。今の段階でその改善が実現できれば、ごみの減量や資源化がもっと進むと同時に、来場者の方が気持ちよくごみのない万博に協力していただけたと思います。ぜひ以下の提言について前向きにご検討ください。

I 3Rステーションについて

1. 分別ボックスの順番を統一してください。

現在は分別ボックスの形状が異なると並べる順番まで違っており、来場者が混乱します（＝分別が徹底されない原因となります）。

2. 分別ボックスに具体例を表示してください。

現状では、たとえば紙コップを「紙類」に入れればいいのか「燃やすごみ」に入れればいいのかわかりません。さらにごみ問題の知識がある人になると、「紙コップはポリエチレンラミネートされているからリサイクルしにくいけど、なかには資源化できる製紙メーカーもあるし…」と分別に迷うことになります。このボックスにはたとえばこんなものを入れればよいと一目でわかるような、絵や文字による表示をお願いします。

3. 多言語表示をしてください。

現状は日本語と英語ですが、スペースが十分にあるのですから、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語などによる表示も加えてください。

4. すべての 3 Rステーションにスタッフが常駐する体制にしてください。

現状は、スタッフが常駐しているステーションとそうでないステーションがあり、人がいないステーションではプラスチックのふたとストローがついた紙コップをまとめて「燃やすごみ」に入れている方を見かけました。スタッフがついていれば、「ふたとストローはプラスチックに入れてください」と指導することができます。

II リユース食器について

1. お店の人に、「これはリユース食器なので、ごみ箱に捨てないで返却してください」とお客さんに声かけしてくれるようにアナウンスしてください。

リユース食器を使用しているキッチンカーには、その旨の表示がありますが、いちいちそれを見ないお客さんもいるし、お店とリユース食器返却場所が離れていると、ついごみ箱に捨ててしまいがちです。そうならないよう、お店の人が商品を渡すときに一言声かけしてくれるように、主催者側から伝えてください。

2. 3 Rステーションとの連動をお願いします。

3 Rステーションでリユース食器を捨てられることのないよう、次のような工夫をお願いします。

- ①「燃やすごみ」の分別ボックスに、「リユース食器は捨てないで!!」のような表示をしてください。
- ② 3 Rステーションのスタッフの方に、「リユース食器は専用の回収場所へ返却してください」というアナウンスを定期的にしていただくようお願いしてください。また、明らかにリユース食器とわかるものが捨てられそうになったら、声かけしていただくようお願いしてください。